

2022年度「日本語・日本文化研修留学生」「国際交流協定に基づく特別聴講学生」の皆さんへ

日本語・日本文化研修留学生（日研生）、及び国際交流協定に基づく特別聴講学生（交換留学生）の皆さん、無事、奈良教育大学での学業を終了されたこと、心よりお祝い申し上げます。

本学での研究成果を拝見し、感動しました。皆さんそれぞれが興味を抱いたことをテーマに、母国と日本とのつながりを踏まえたこれらの研究は、日本人である私も気付かなかった知見も多く、大変刺激を受けました。すべての研究に対し、その努力に敬意を表します。そして、ありがとう！

さて、ご承知のように、奈良教育大学はユネスコスクールです。日本には、国立・公立・私立を合わせて790の大学がありますが、ユネスコスクールに認定されている大学はわずかに6大学です。しかも、奈良教育大学は、その第1号として認定されました。

ユネスコスクールとは、「ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校」です。また、その目的は、「世界中の学校と生徒間・教師間の交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと」、「地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと」とされています。

皆さんが、日本の最も古い都市である奈良で、そして、ユネスコスクールで学んだこと、是非、母国に帰ってからも誇りにしてください。

奈良教育大学は、これからも皆さんの奈良教育大学です。今日は「さようなら」の日ですが、「さようなら」は、今日のこの瞬間で終わり。明日からは、場所こそ離れますが、皆さんの心の中ではいつまでも「奈良教育大学に深く関わっている人」と思っていてください。そして、皆さんの母国と、奈良教育大学、奈良、日本とをいつもつないでいてください。

また、横のつながり、つまり、一緒に学んだ皆さん同士のネットワークをいつまでも保ち続け、文化の違い、考え方の違い、習慣の違いなど、「違い」を理解し、「違うからこそそのよさ」を見つけ出すことの尊さを、ほかの人々に伝えてください。私も学長として、皆さんがいてくれた奈良教育大学を、いつまでも発展し続けるよう努力しますので、どうか世界から見守っててください。これは私からのお願いです。

今度は、皆さんの母国でお会いしたいと思います。どうか元気で活躍している姿をみせてください。

これをもって、お別れの言葉、いやそうではなく、皆さんとともに新たなこれからの一歩を踏み出す「始まりの言葉」といたします。

2022年8月5日

国立大学法人奈良国立大学機構 奈良教育大学 学長 宮下俊也